

911.3  
八

八  
世果  
世德  
世功  
世業



貝合のハシ

ハシ

ハシ

ハシ

ハシ

ハシ

ハシ

ハシ

墨田のり

生駒の金

撰集

五月二日

様前

湖

ね

北の香

山根坂の  
藪子

中坊春白

いささ

たろ  
うた

湖城の  
坂

ふん  
根也

門  
の

に  
たろ  
お  
は

市瀬あり

阿比の代の物

木多し

下抱ふあり大樹の

いふ歳

下松

あり

いふ

あり

里人の

あり

楠を抱へ

かたむね

高き

すき

木と

竹の音も

かたむね

日た鼎端

おとろし  
まのし  
あはれ

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は

は  
は  
は



た

た

三

一

結

一

一

三

た

た

た

た

た

の 星 子

お ぎ の ぎ

の ぎ

結 子 の

ま ち の ち

結 子 の

結 子 の

結 子 の

結 子

結 子 の

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

上  
中  
下

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

能因とあ

ま

う

ほ

す

の

め

お

あ

し

抄本



文政六年

八葉集(一)



五  
卷  
一  
四

宣  
統  
二  
年  
八  
月  
廿  
九  
日  
張  
書